

令和3年7-9月期中小企業（製造業）

景況動向調査結果

令和3年10月15日
群馬県中小企業団体中央会

調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和3年9月10日～令和3年9月30日
3. 調査方法 郵送調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）で、本会会員組合所属の500社
5. 回答状況 調査対象500社のうち回答を得られたのは263社で、全体の回収率は52.6%となった。回答企業の平均従業員数は55.9人であった。

業 種	項 目	調査数	回 答		平 均 従業員数
			数	率	
食 料 品 製 造 業		95 社	48 社	50.5%	52.1 人
織 維 ・ 同 製 品 製 造 業		59	30	50.8	18.2
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業		30	18	60.0	21.4
紙 加 工 品 製 造 業		32	11	34.4	25.4
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業		61	42	68.9	29.5
金 属 ・ 機 械 ・ プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業		223	114	51.1	85.6
	計	500	263	52.6	55.9

6. 要旨











「一部回復の兆しが見られるも厳しい状況継続、来期も明るさ見えず」

売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和2年7-9月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲11.0となり、前回調査(令和3年4-6月期)の▲6.4から4.6ポイント下降している。来期見通しにおいては、0.9ポイント上昇し、▲10.1となる見通しになっている。

全体の天気図は、「小雨」となった。来期見通しにおいても「小雨」の状態が継続する見通しとなっている。

【図表1】



【図表1】


	元年(31年)		2年				3年			来期見通
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	
全体	 ▲18.5	 ▲27.1	 ▲38.5	 ▲70.4	 ▲62.9	 ▲50.1	 ▲36.7	 ▲6.4	 ▲11.0	 ▲10.1

※景況天気図は「売上高」「収益性」(同期比)のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



業種別にみると、回復1業種、悪化4業種、横ばい3業種となっている。


回復…「機械・機器」  → 

悪化…「食料品」  → 

「木材・木製品」  → 

「窯業・土石製品」  → 

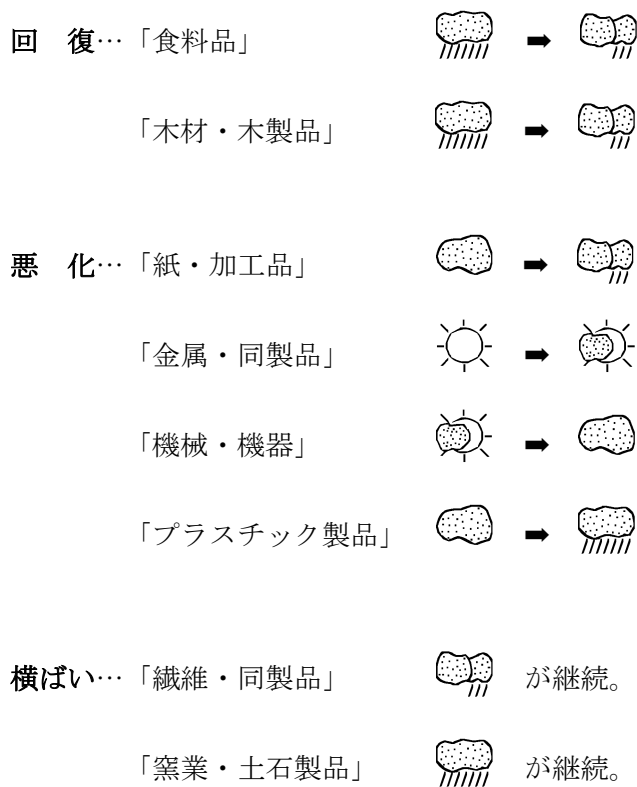
「プラスチック製品」  → 

横ばい…「繊維・同製品」  が継続。

「紙・加工品」  が継続。

「金属・同製品」  が継続。

来期見通しにおいては、回復2業種、悪化4業種、横ばい2業種となっている。



【図表2】

